

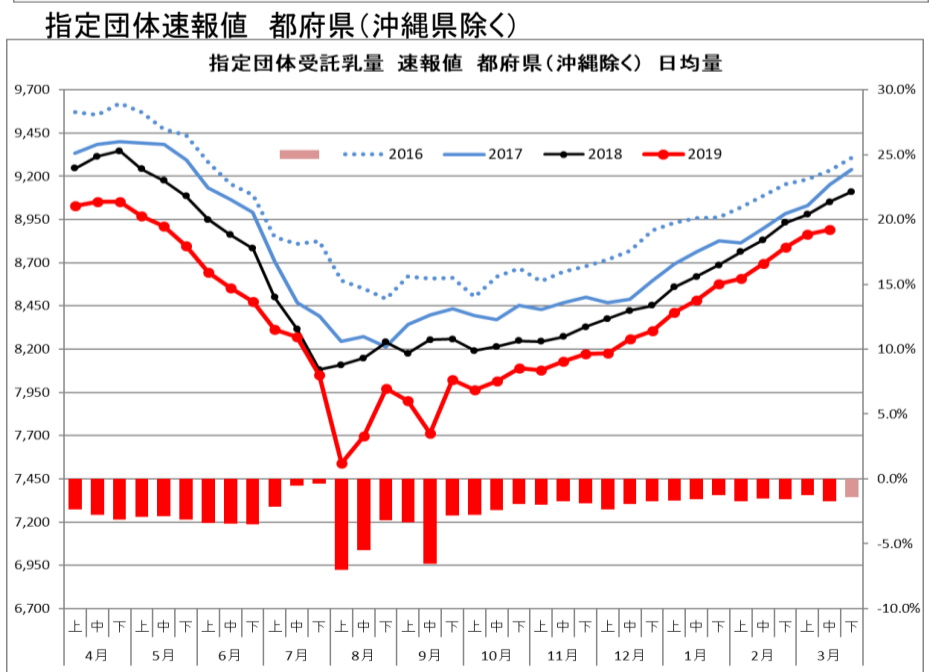
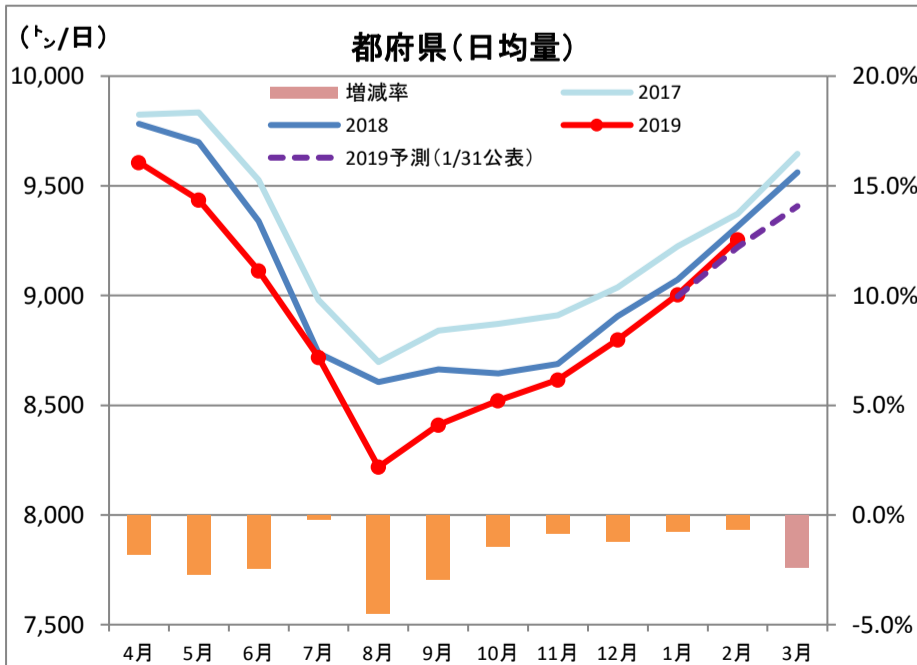
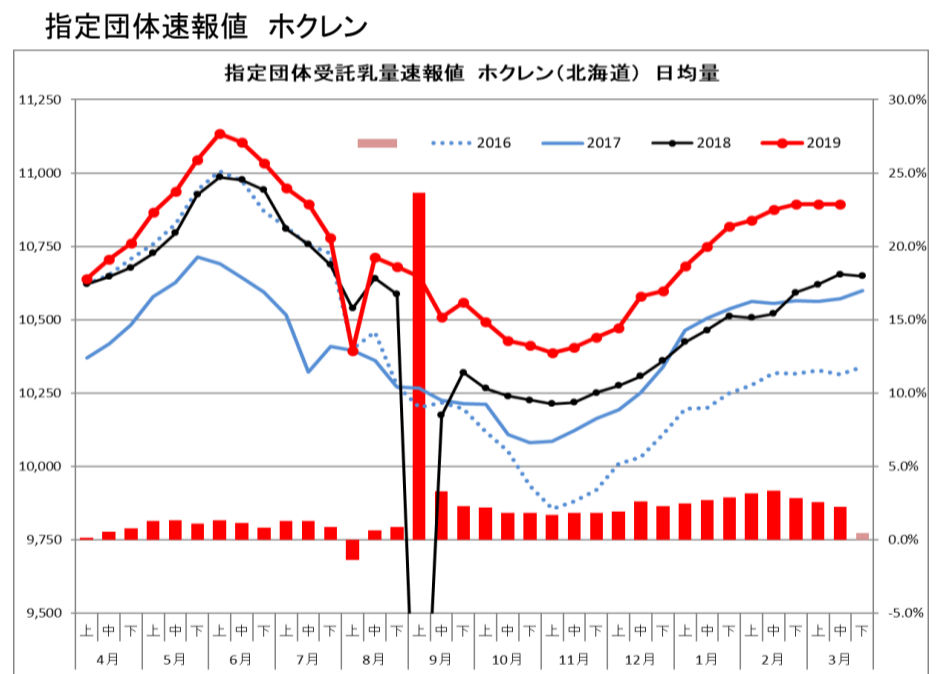
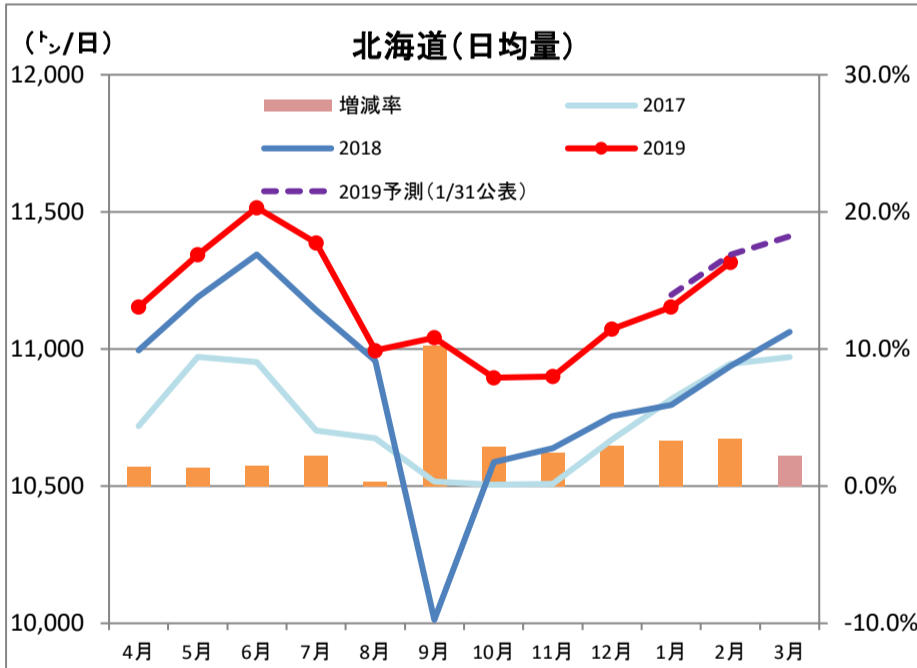
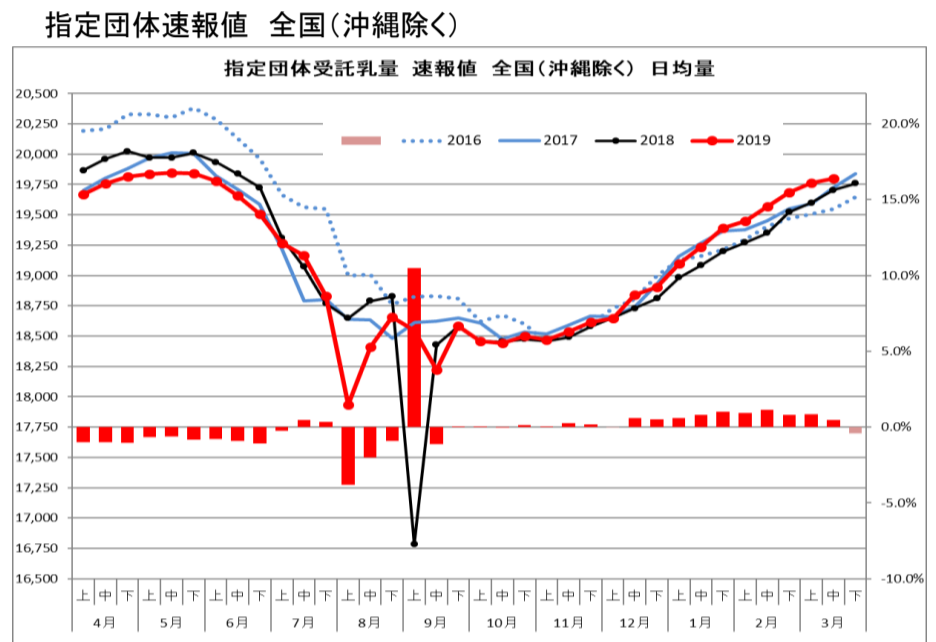
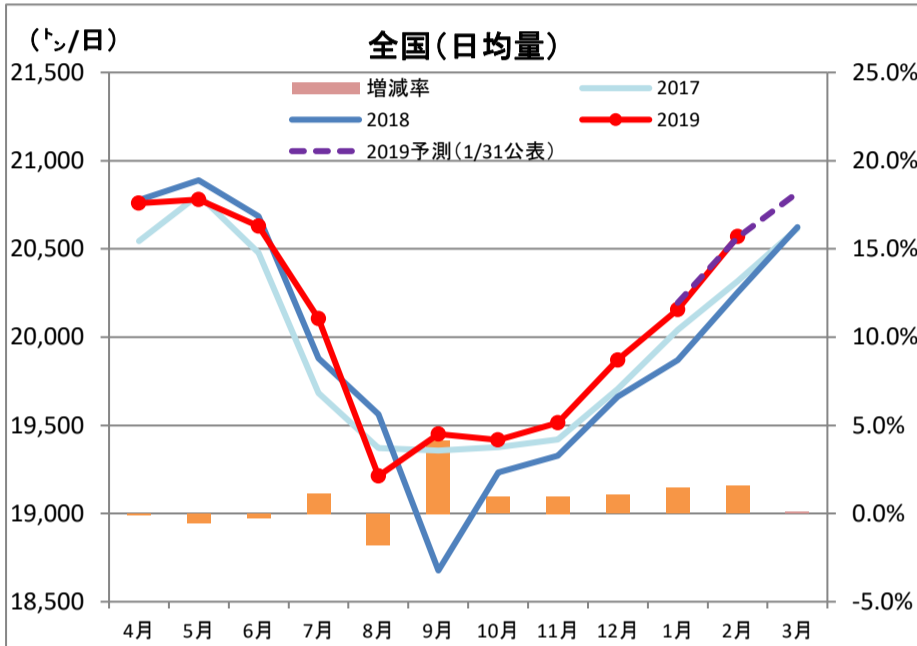
Jミルクが2020年1月31日に公表した「需給見通し(※2019年11月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。毎月25日の「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も随時、配信していきます。発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《新型コロナウイルス感染拡大による学乳停止の可能性について》

東京都を含む感染拡大地域については、臨時休校が継続される可能性が高くなっており、引き続き、回復基調にある生乳生産基盤を損なうことのないよう、3月と同様に円滑な需給調整等を継続するべく、酪農乳業者が一致協力した対応を図ってゆく必要がある。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

- (1)2月の生乳生産量は、全国596千ト(前年同月比101.6%)、北海道328千ト(同103.5%)、都府県268千ト(同99.3%)。
- (2)全国では、Jミルク予測値(596千ト)と同程度で推移している。
- (3)北海道は、予測値(329千ト)と同程度となり、引き続き好調に推移している。
- (4)都府県は、予測値(267千ト)を若干上振れしており、生産量は回復傾向にある。
- (5)3月中旬の指定団体速報値によると、全国が同100.5%、北海道が同102.4%、都府県(沖縄除く)が同98.3%。



【牛乳等生産量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1) 2月の牛乳等生産量は、牛乳251千kl(前年同月比99.6%)、成分調整牛乳22千kl(同93.6%)、加工乳10千kl(同117.1%)、乳飲料81千kl(同103.1%)となり、牛乳類で364千kl(同100.4%)と堅調に推移している。

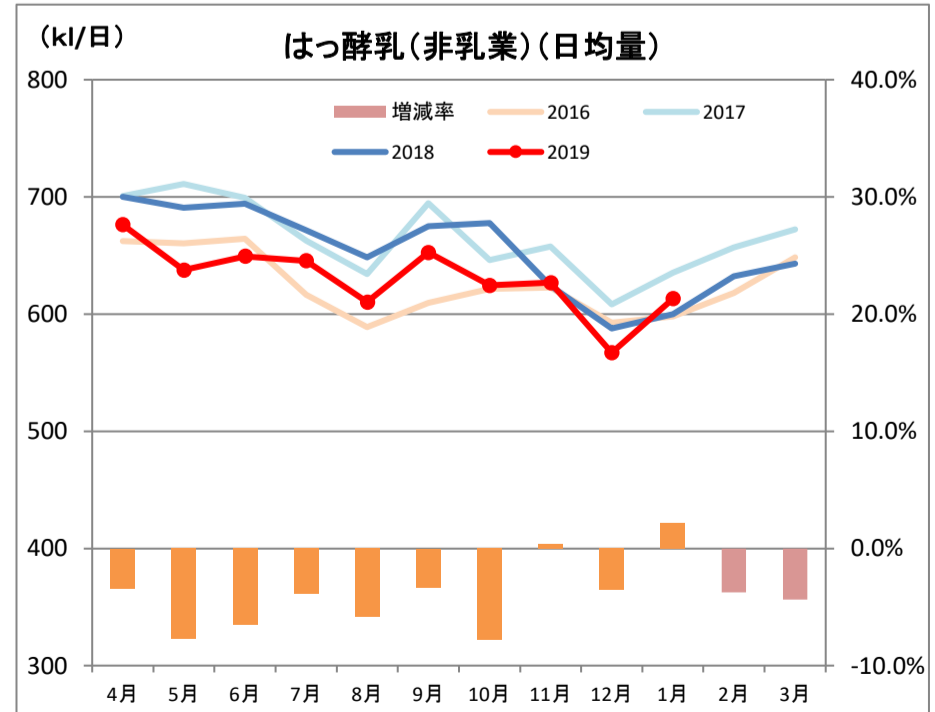
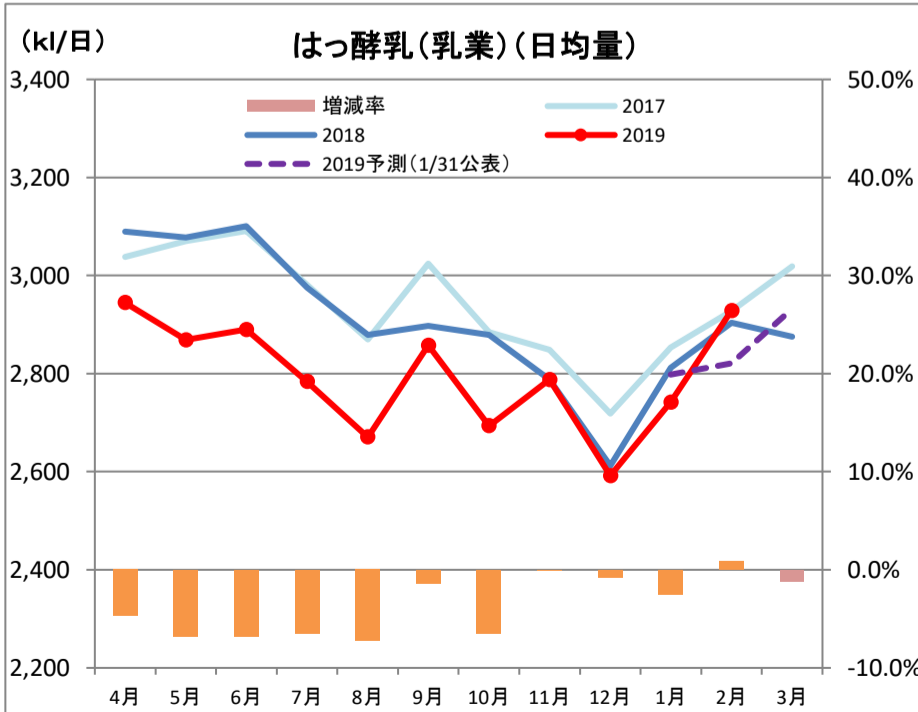
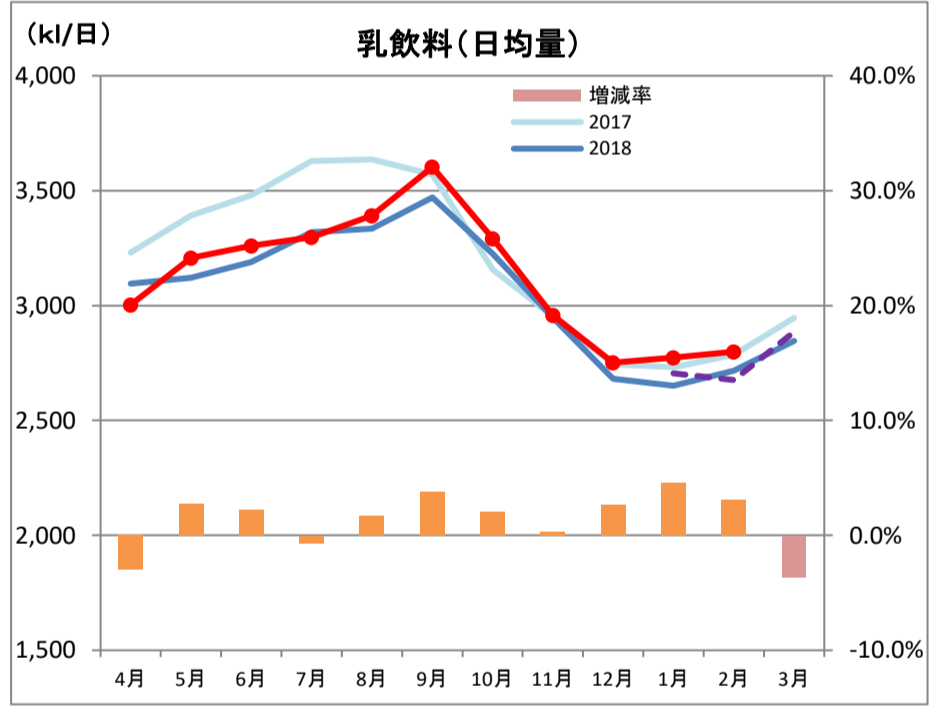
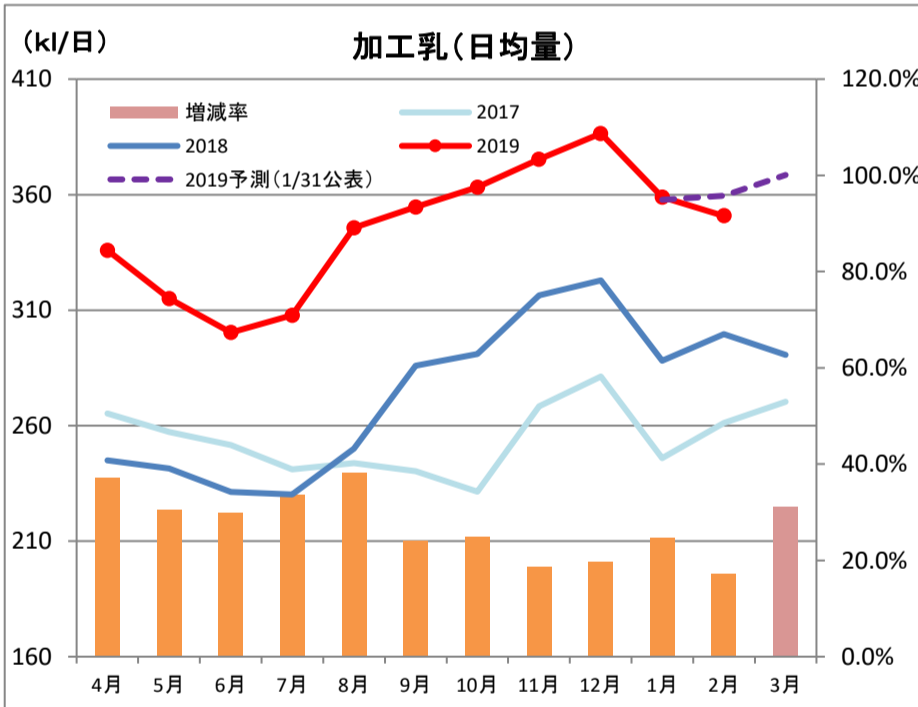
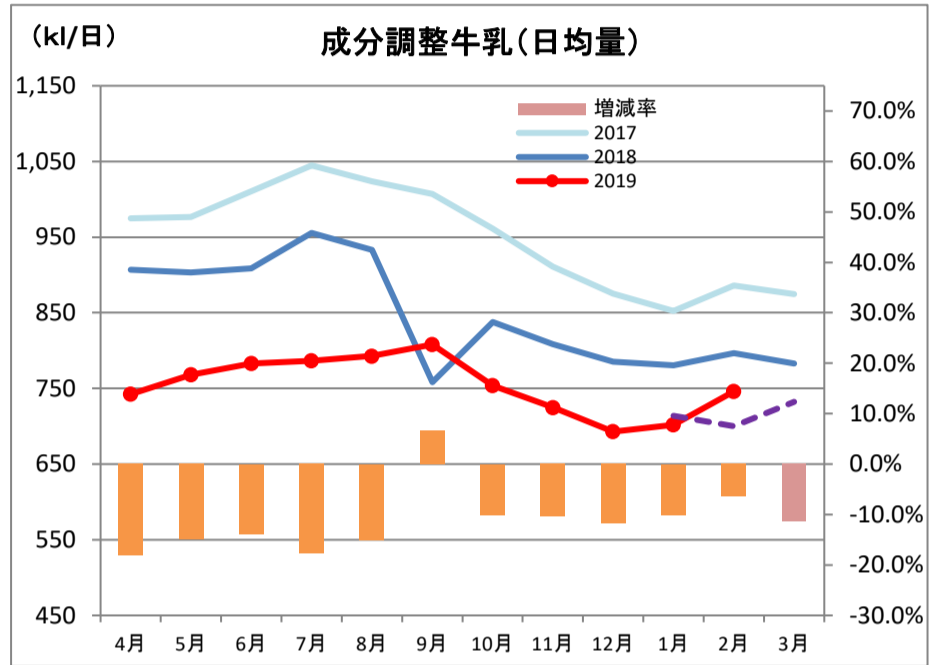
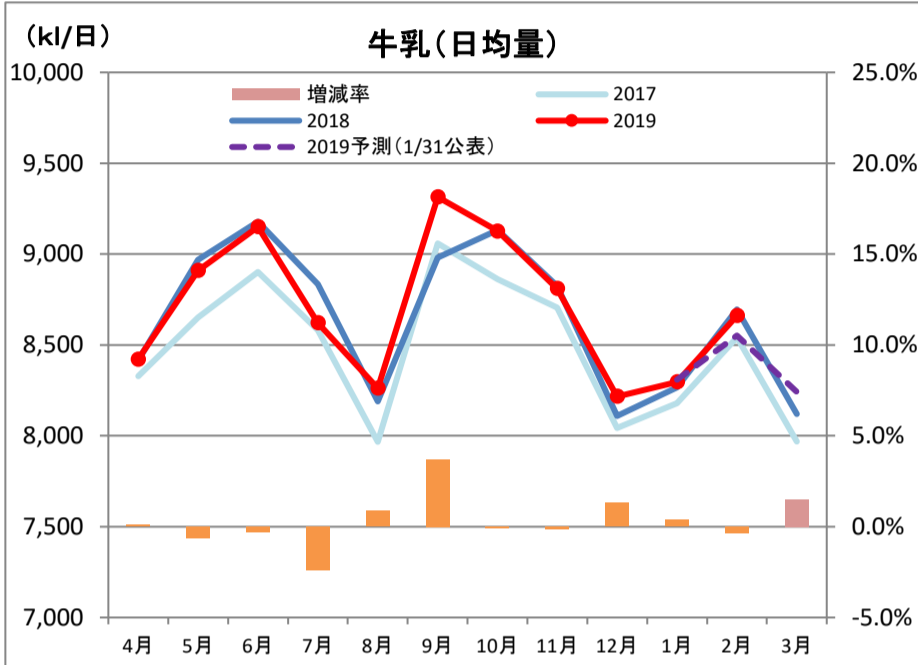
なお、予測値との比較では、牛乳(予測値:248kl)、成分調整牛乳(予測値:20kl)、乳飲料(予測値:78千kl)は上振れしているが、加工乳(予測値:10千kl)は若干下振れしている。

(2) 「牛乳」のうち、「業務用以外」は同102.1%と堅調である一方、「業務用」は同93.7%と前年を大きく下回っている。

(3) 加工乳・成分調整牛乳は目立った動きはないが、「乳飲料」は7ヶ月連続で前年を上回り推移している。

(4) はっ酵乳(乳業)は85千kl(同104.5%)、非乳業実績(1月)についても同102.2%と前年を上回っており、低調だった需要が回復基調にあるが、**新型コロナウイルスの感染拡大によって、機能性ヨーグルトを中心に免疫力アップに対する期待等によって引き合いが強まっていることも要因の一つと考えられる。**なお、はっ酵乳(乳業)は、予測値(82千kl)より上振れして推移している。

※はっ酵乳(非乳業)資料:(一社)食品需給研究センター「食品製造業の生産動向」



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)2019年11月よりデータ対象店舗にドラッグストア業態を追加した。あわせて2007年度まで遡及し更新したため、数値がこれまでと異なることに留意。

(2)2月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比107.7%(閏年修正後103.3%)、成分調整牛乳:同87.6%(同84.6%)、加工乳:同188.6%(182.2%)、乳飲料:同109.5%(同105.7%)。牛乳類では同106.9%(同103.3%)と前年を大きく上回っている。

・販売単価は、牛乳:189.1円、成分調整牛乳:172.6円、加工乳:182.1円、乳飲料:150.0円。

(3)直近(本年1月~)の動向(表②参照)

・直近(3/23週)の販売個数は、牛乳:前年同期比111.5%、成分調整牛乳:同89.2%、加工乳:同190.0%、乳飲料:同111.6%。

牛乳類では同110.3%と前年を大きく上回って推移している。

・販売単価は、牛乳:189.5円、成分調整牛乳:173.9円、加工乳:184.7円、乳飲料:150.8円。

・引き続き在宅勤務や一部地域での外出自粛、特に東京都の外出自粛要請による影響と考えられる家庭内需要の急増から、前週(3/16週)よりさらに数字を伸ばしている。

※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

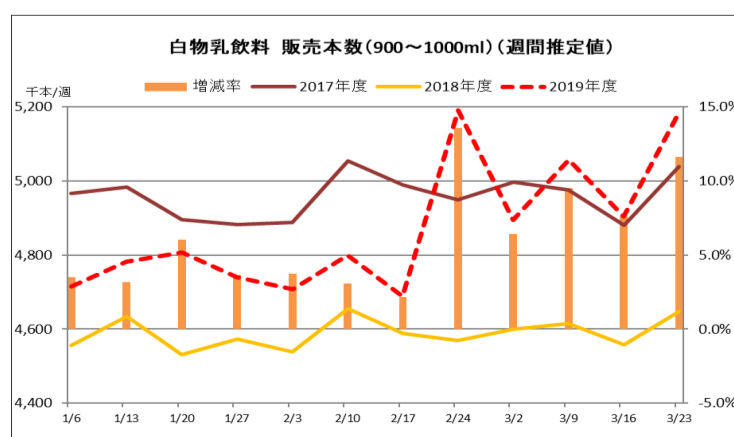
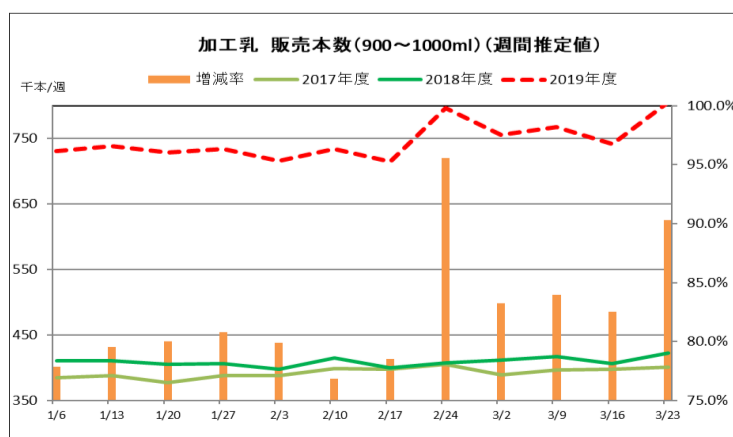
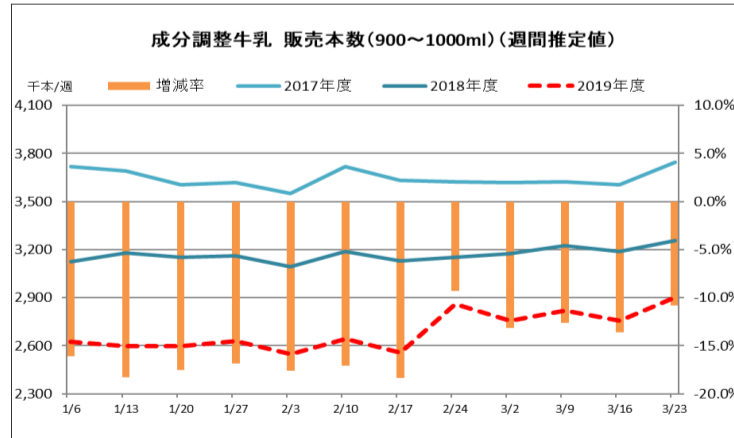
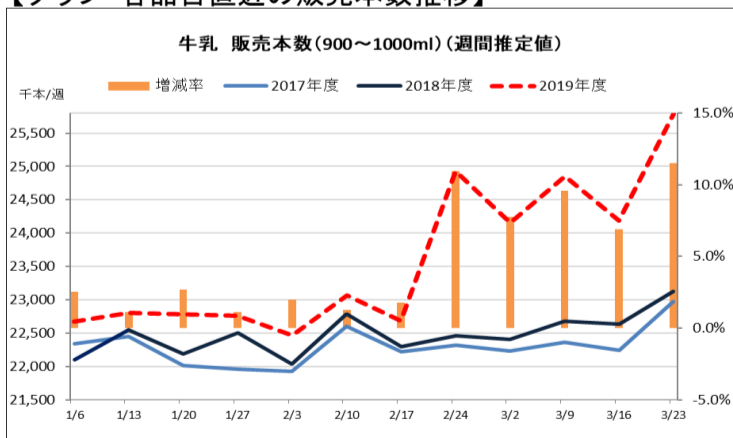
【表① 牛乳類の販売動向】

品目	区分	2019/4-	2019/5-	2019/6-	2019/7-	2019/8-	2019/9-	2019/10-	2019/11-	2019/12-	2020/1-	2020/2-	2020/2- (閏年修正値)
トータル	販売個数	134,835	146,125	146,089	150,712	157,017	153,596	148,298	134,058	136,831	130,706	130,783	126,273
	販売個数前年比	95.8	96.1	96.8	91.6	96.8	100.1	100.8	99.7	99.1	100.8	106.9	103.3
	販売単価	181.1	182.0	182.1	182.5	183.2	182.6	182.4	181.8	182.0	181.8	181.5	
牛乳	販売個数	98,671	106,849	106,658	109,892	115,243	111,701	108,225	97,871	101,065	96,416	96,544	93,215
	販売個数前年比	98.2	97.4	97.8	92.4	98.0	100.5	102.6	100.2	100.0	101.4	107.7	104.0
	販売単価	188.6	189.5	189.8	190.3	190.9	190.5	190.2	189.7	189.4	189.4	189.1	
成分調整牛乳	販売個数	12,089	12,781	12,615	13,213	13,581	13,640	12,364	11,490	11,514	11,016	11,040	10,659
	販売個数前年比	73.5	77.0	78.1	74.8	78.2	105.5	80.7	82.0	80.7	82.5	87.6	84.6
	販売単価	171.1	172.8	173.1	173.5	173.9	173.5	173.8	172.9	173.0	172.9	172.6	
加工乳	販売個数	3,303	3,831	3,805	3,959	3,942	3,972	3,871	3,321	3,286	3,103	3,064	2,958
	販売個数前年比	183.7	180.4	180.3	173.9	178.2	160.1	178.1	180.9	179.3	178.0	188.6	182.2
	販売単価	184.5	187.9	186.2	186.6	188.2	184.7	183.3	182.6	183.5	182.7	182.1	
乳飲料	販売個数	20,772	22,664	23,011	23,648	24,251	24,283	23,838	21,376	20,966	20,172	20,135	19,441
	販売個数前年比	94.2	96.1	98.0	92.2	96.7	90.2	99.0	102.4	100.8	103.7	109.5	105.7
	販売単価	150.3	150.8	150.7	150.8	151.1	151.0	151.4	150.3	150.5	149.9	150.0	

【表② 牛乳類の販売動向(1/6~直近の動向)】

品目	区分	1.6-	1.13-	1.20-	1.27-	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-
トータル	販売個数	30,740	30,915	30,916	30,863	30,432	31,247	30,644	33,774	32,555	33,491	32,590	34,687
	販売個数前年比	101.8	100.5	102.1	100.7	101.2	100.7	100.8	110.4	106.4	108.3	105.9	110.3
	販売単価	181.9	181.4	181.3	181.5	181.5	181.4	181.8	181.4	182.0	181.9	182.0	182.3
牛乳	販売個数	22,670	22,800	22,782	22,760	22,464	23,070	22,687	24,928	24,150	24,851	24,190	25,793
	販売個数前年比	102.6	101.1	102.7	101.1	101.9	101.3	101.7	111.0	107.8	109.6	106.9	111.5
	販売単価	189.6	189.0	188.9	189.1	189.1	189.0	189.3	188.9	189.3	189.3	189.3	189.5
成分調整牛乳	販売個数	2,623	2,595	2,599	2,629	2,546	2,644	2,556	2,861	2,756	2,817	2,756	2,902
	販売個数前年比	83.9	81.7	82.5	83.1	82.4	82.9	81.6	90.7	86.8	87.4	86.4	89.2
	販売単価	172.8	172.8	172.7	172.6	173.0	172.2	173.1	172.6	173.7	173.3	173.4	173.9
加工乳	販売個数	731	738	729	734	716	734	714	796	755	767	741	805
	販売個数前年比	177.9	179.7	180.2	181.0	179.7	176.9	178.2	195.4	183.3	183.9	182.5	190.0
	販売単価	183.2	182.5	182.3	181.4	182.1	182.0	182.2	182.8	182.3	182.7	182.8	184.7
乳飲料	販売個数	4,716	4,782	4,806	4,740	4,708	4,800	4,688	5,190	4,894	5,056	4,904	5,187
	販売個数前年比	103.5	103.2	106.0	103.6	103.7	103.1	102.2	113.6	106.4	109.5	107.6	111.6
	販売単価	149.6	149.8	149.6	150.0	150.1	150.1	149.9	150.1	150.3	150.4	150.5	150.8

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値): インテージSRI】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)直近(本年1月~)の動向(表①参照)

直近(3/23週)の販売個数は、ドリンクタイプ(100~250ml):前年同期比120%以上、個食タイプ(70~130ml):前年並み、大容量タイプ(350~500ml):前年同期105%以上~110%未満。

(2)機能性ヨーグルトを中心に免疫力アップに対する期待や、外出自粛等の影響と考えられる家庭内需要によって、引き続きドリンクタイプを中心に堅調に推移している。

※出典 (株)インテージSRI週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① ヨーグルト類の販売動向】

品目	1.6-	1.13-	1.20-	1.27-	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-
ドリンクタイプ	↘	↓	↓	↘	↘	→	↗	↑	↗	↑	↑	↑
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	↗	↘	→	→	→
大容量タイプ	→	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↑	→	↗	↗	↗

-  : 前年比90%未満
-  : 前年比90%以上100%未満
-  : 前年比100%以上105%未満
-  : 前年比105%以上110%未満
-  : 前年比110%以上120%未満
-  : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

《補足事項》

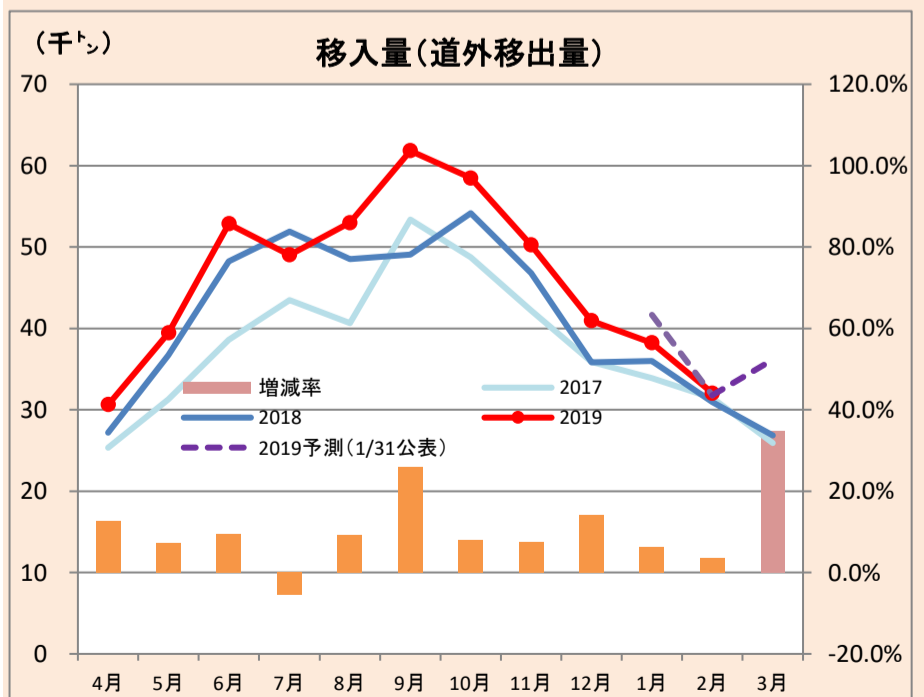
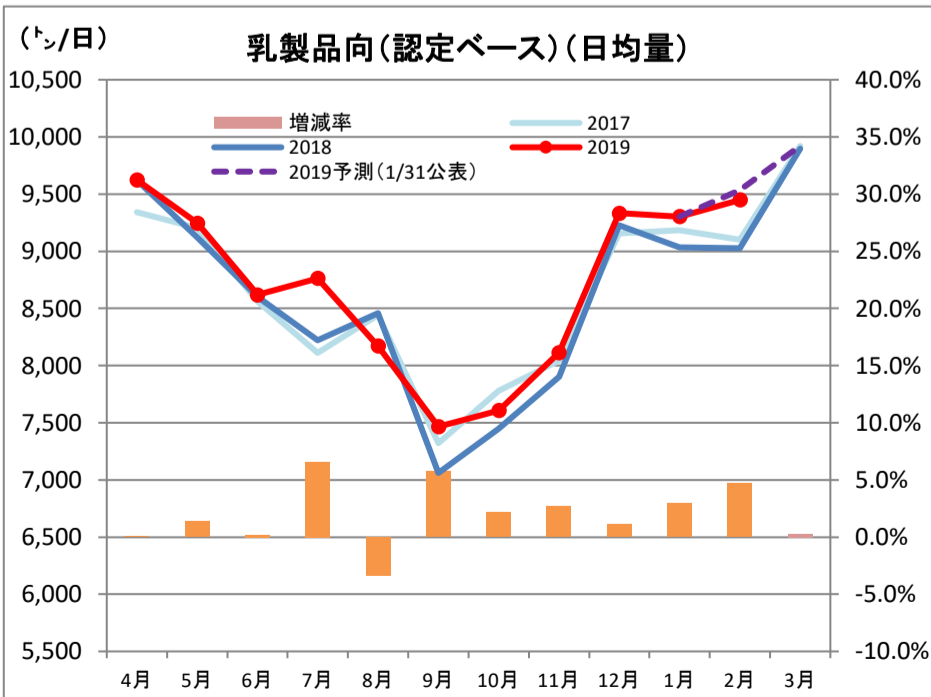
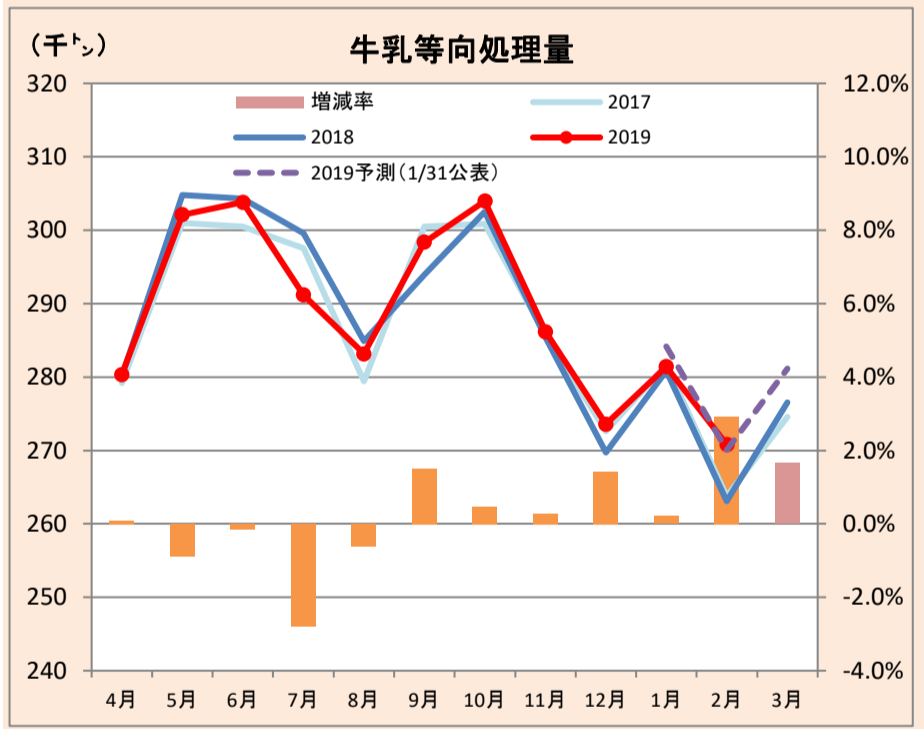
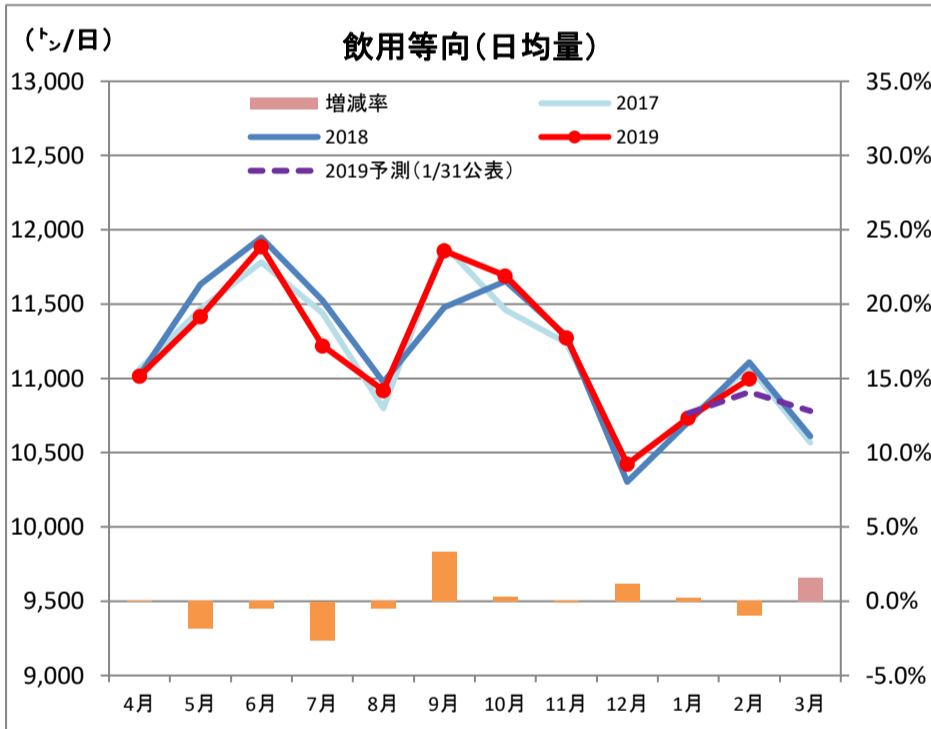
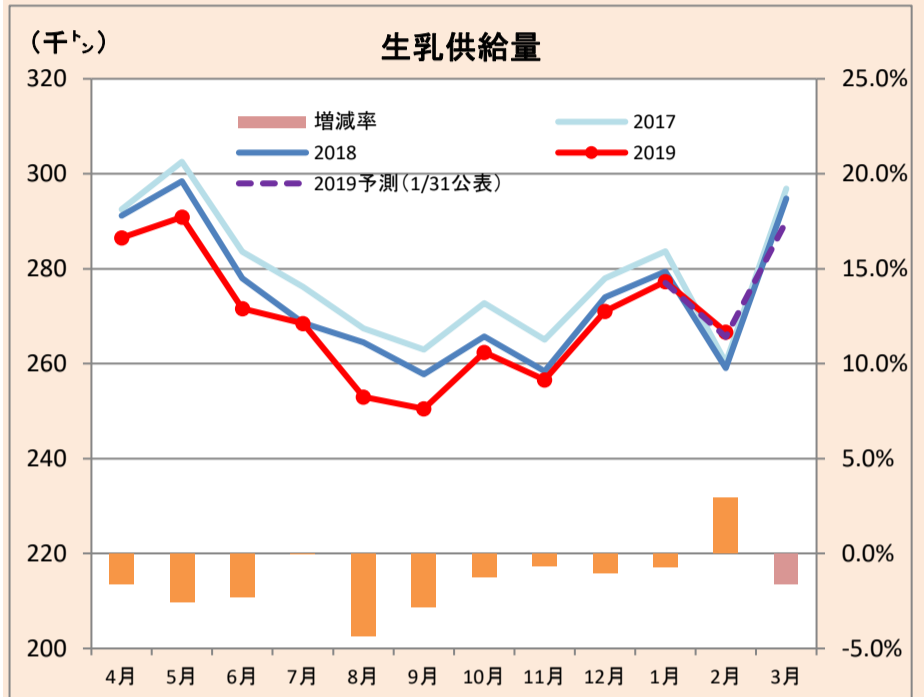
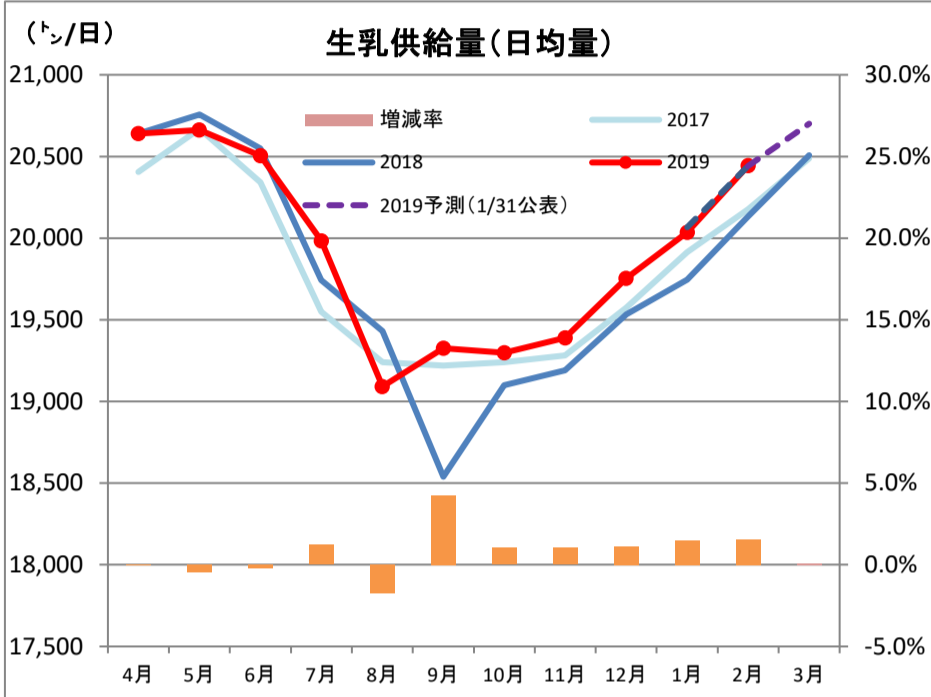
P. 3~4で示した牛乳類ならびにヨーグルト類の販売実績については、家庭用製品の実績であり、その他乳製品も含め、業務用製品については、新型コロナウイルスの影響による外出自粛やインバウンド減少に伴う外食や観光業等の需要の落ち込みの影響を受け、大きく減少していると考えられる。

【用途別処理量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)2月の生乳供給量は593千ト(前年同月比101.6%)、飲用等向319千ト(同99.0%)、乳製品向(認定ベース)274千ト(同104.7%)。
 (2)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:593千ト)は同程度で推移している。飲用等向(予測値:316千ト)は若干上振れしていることから、乳製品向(予測値:277千ト)は下振れして推移している。
 (4)北海道の生産は好調であり、都府県についても回復傾向にあるため、今後も生乳供給量は前年を超えて推移することが予測される。

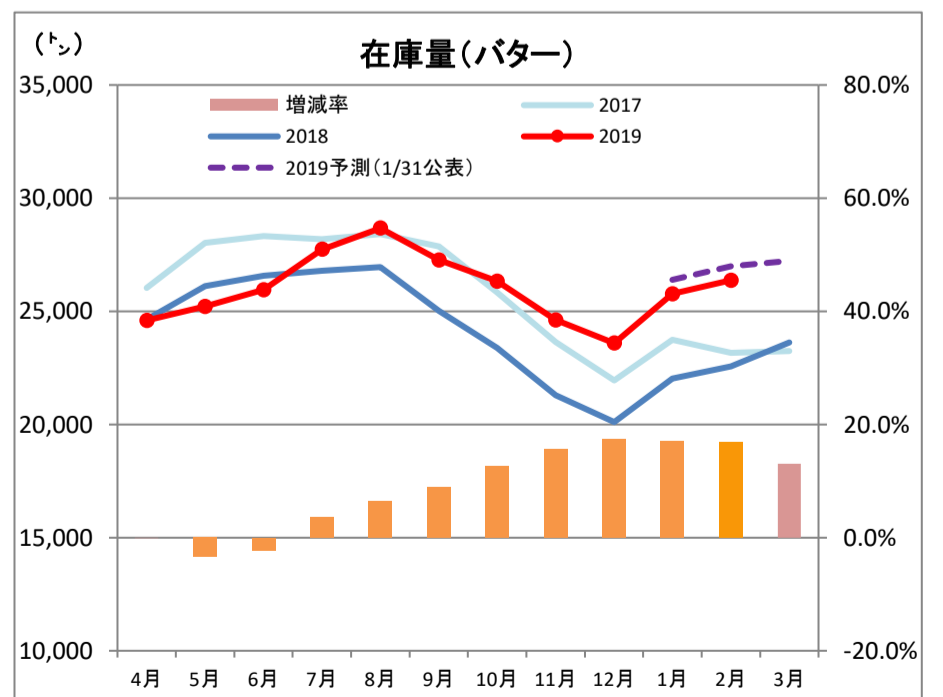
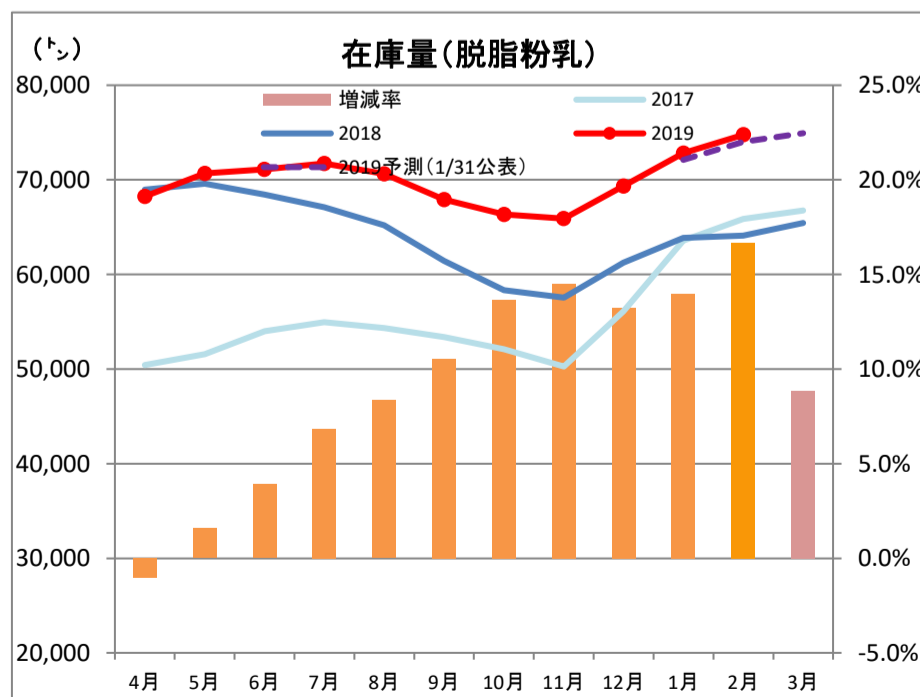
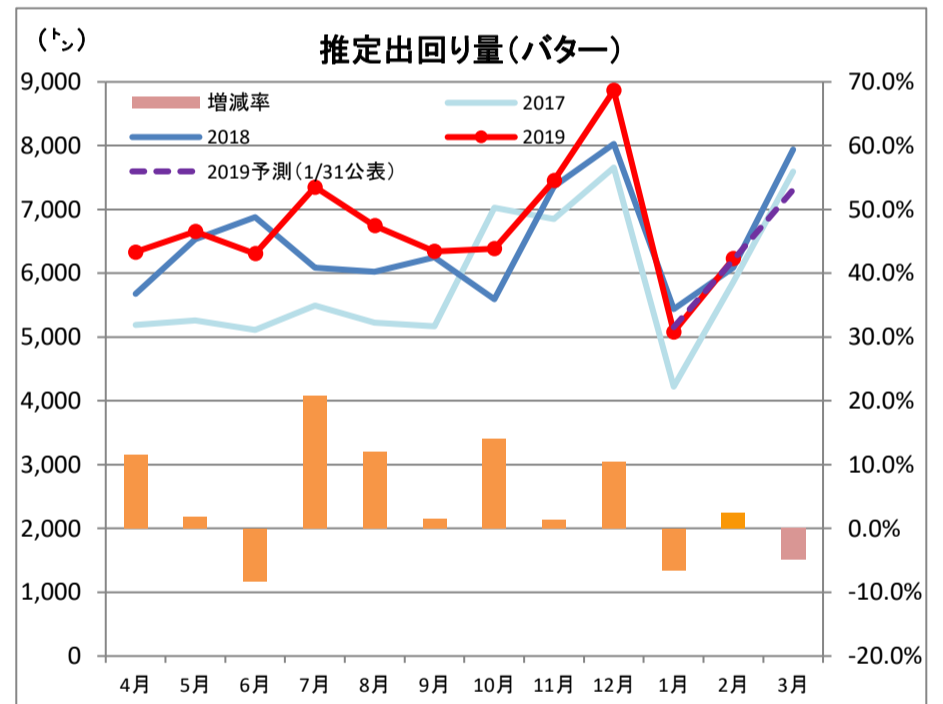
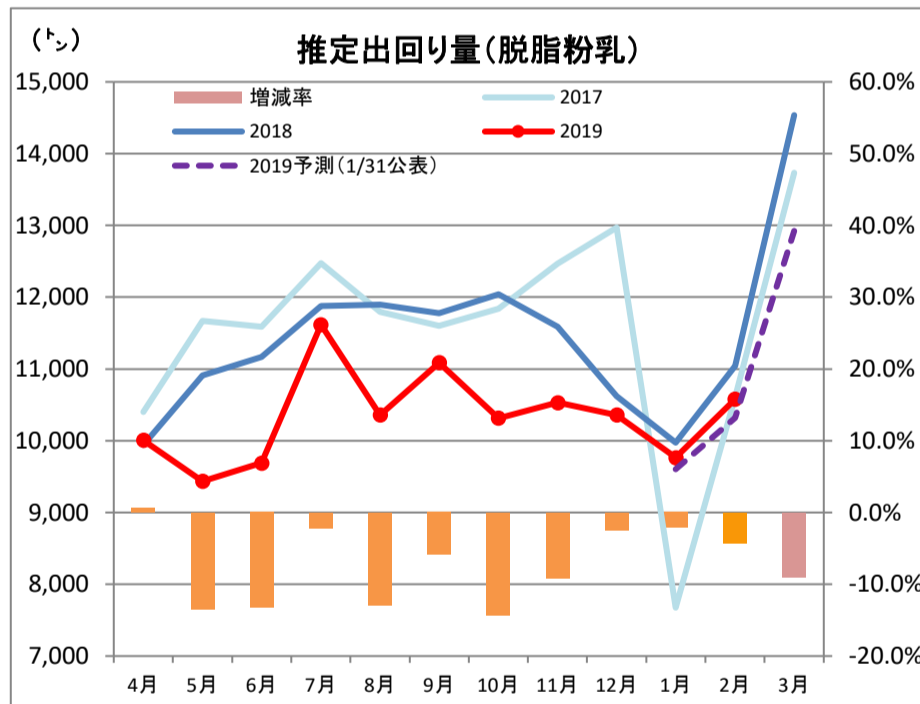
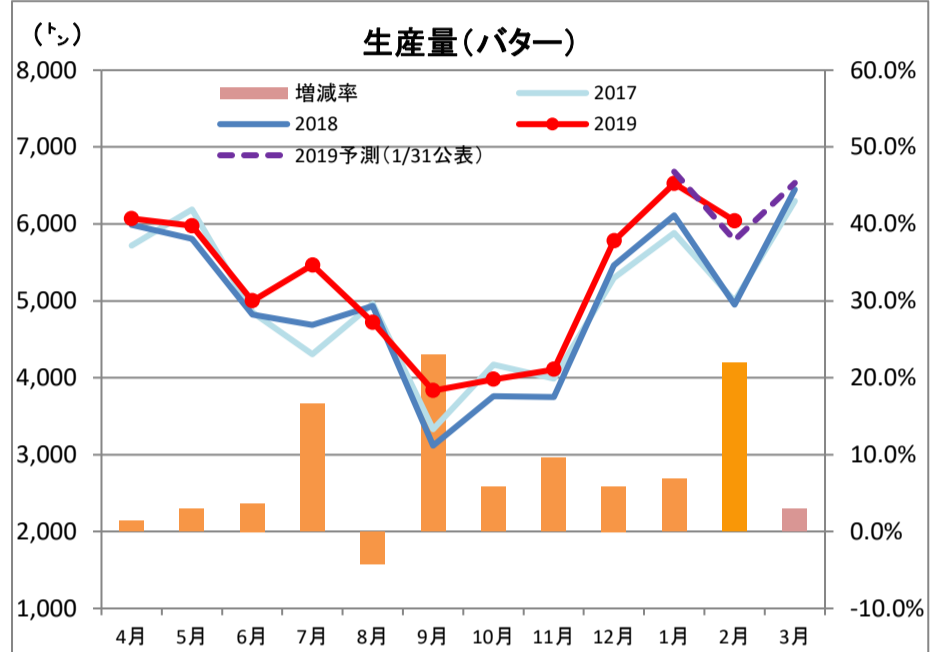
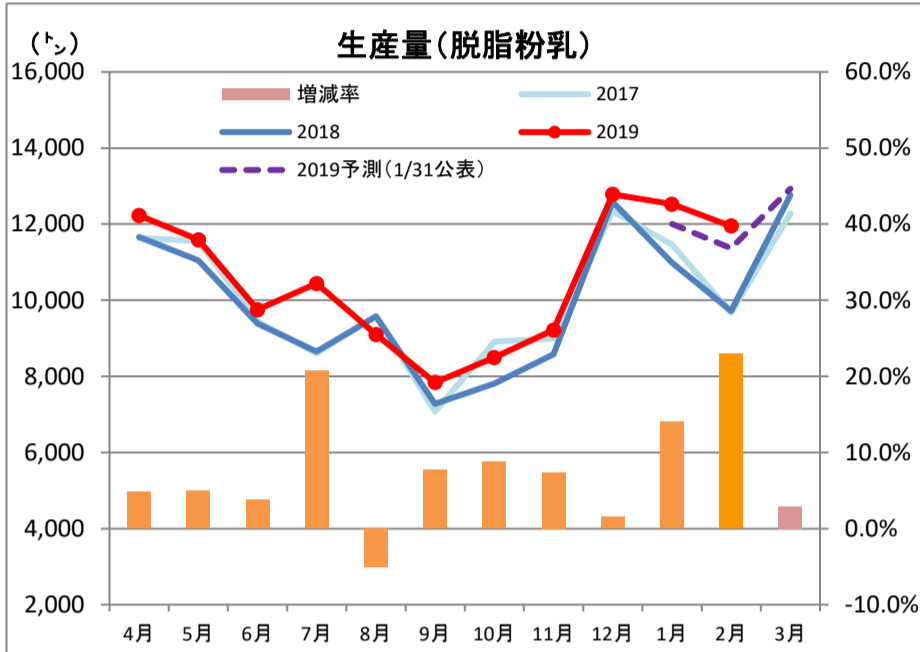
【都府県の生乳需給】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)2月の生乳供給量267千ト(前年同月比102.9%)、牛乳等向271千ト(同102.9%)、北海道からの移入量について、32千ト(同103.4%)。
 (2)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:266千ト)、牛乳等向(予測値:270千ト)、北海道からの移入量(予測値:32千ト)全てにおいて同程度で推移している。



【脱脂粉乳・バター需給】※増減率は、日均量で算出。

- (1) 脱脂粉乳は、2月の生産量は12.0千ト(前年同月比122.9%)、推定出回り量は10.6千ト(同95.8%)、その結果、在庫量は74.8千ト(同116.7%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を割り込み、10ヶ月連続で前年割れ。なお、予測値との比較では、生産量(予測値:11.4千ト)、推定出回り量(予測値:10.3千ト)、在庫量(予測値:74.0千ト)全てにおいて、若干上振れして推移している。
- (2) バターは、2月の生産量は6.0千ト(同122.0%)、推定出回り量は6.2千ト(同102.4%)、その結果、在庫量は26.4千ト(同116.9%)。推定出回り量(≒需要量)は堅調に推移。なお、予測値との比較では、生産量(予測値:5.8千ト)は若干上振れしているが、推定出回り量(予測値:6.2千ト)は同程度、在庫量(予測値:27.0千ト)は若干下振れしている。
- (3) 3月については、生乳生産量が増加していることに加え、P.4に記したとおり新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、業務用乳製品の需要が大幅に落ち込んでいることから、在庫量(特に脱脂粉乳)がJミルク予測値よりも積み上がっていると想定され、今後の状況が懸念される。



【乳用種からの出生頭数動向 速報値】

- (1) 2019年度1月までの乳用種からの出生頭数(乳用種雄・雌、交雑種)をみると、7月以降は北海道・都府県ともに前年を上回り推移している。
- (2) 乳用種雌牛については、1月末累計で全国では前年比102.1%、北海道:同102.3%、都府県:101.3%と前年を超えているが、都府県については、直近の2ヶ月(12~1月)は前年を下回って推移している。
- (3) 交雑種について、7月以降前年を超えて推移し、1月末累計で全国では104.4%と前年を上回っている。これに伴い、初生とくの販売価格が徐々に下がりつつある。※家畜改良センターの速報値。

全国

月	合計	前年比	乳用種オス	前年比	乳用種メス	前年比	交雑種	前年比
4月	50,802	100.2%	13,193	98.6%	18,857	103.1%	16,106	97.5%
5月	50,843	96.6%	13,191	91.6%	19,231	99.7%	15,589	94.6%
6月	55,065	97.8%	14,253	93.3%	20,576	98.8%	17,220	98.3%
7月	65,748	102.9%	17,223	99.2%	23,853	104.8%	21,314	101.9%
8月	66,987	106.0%	17,244	98.7%	24,058	105.9%	22,215	111.2%
9月	61,643	101.3%	15,761	94.5%	22,015	102.2%	20,693	104.7%
10月	60,870	101.6%	14,883	92.6%	21,520	101.3%	21,281	106.8%
11月	59,663	102.7%	14,372	94.4%	21,094	103.9%	20,913	106.5%
12月	61,912	103.2%	14,780	94.6%	21,600	101.4%	22,189	110.0%
1月	60,578	101.9%	14,557	96.1%	21,296	99.2%	21,645	108.4%
2019年度計	594,111	85.9%	149,457	81.2%	214,100	86.0%	199,165	88.2%
4-1月比		101.6%		95.4%		102.1%		104.4%

北海道

月	合計	前年比	乳用種オス	前年比	乳用種メス	前年比	交雑種	前年比
4月	34,583	106.2%	10,696	103.6%	15,132	106.8%	7,864	107.4%
5月	35,154	98.2%	10,795	93.6%	15,483	100.7%	8,016	98.5%
6月	35,051	97.6%	10,786	92.3%	15,499	98.4%	7,914	102.3%
7月	39,921	102.9%	12,472	97.4%	17,287	104.5%	9,051	105.1%
8月	39,213	103.1%	12,033	95.5%	16,963	104.3%	9,062	110.4%
9月	35,834	100.2%	10,978	92.6%	15,279	100.4%	8,464	107.6%
10月	35,100	101.1%	10,431	93.7%	15,041	100.9%	8,540	109.3%
11月	33,862	102.1%	10,074	95.0%	14,583	103.5%	8,240	108.4%
12月	35,518	105.1%	10,430	96.6%	14,976	103.1%	8,989	116.4%
1月	34,865	101.9%	10,207	95.3%	14,881	101.0%	8,830	110.3%
2019年度計	359,101	86.1%	108,902	81.4%	155,124	86.1%	84,970	90.9%
4-1月比		101.8%		95.5%		102.3%		107.5%

都府県

月	合計	前年比	乳用種オス	前年比	乳用種メス	前年比	交雑種	前年比
4月	16,219	89.4%	2,497	81.4%	3,725	90.4%	8,242	89.7%
5月	15,689	93.2%	2,396	83.5%	3,748	95.5%	7,573	90.9%
6月	20,014	98.2%	3,467	96.5%	5,077	100.2%	9,306	95.2%
7月	25,827	102.9%	4,751	104.5%	6,566	105.5%	12,263	99.6%
8月	27,774	110.4%	5,211	107.1%	7,095	109.9%	13,153	111.8%
9月	25,809	102.8%	4,783	99.4%	6,736	106.4%	12,229	102.8%
10月	25,770	102.4%	4,452	90.0%	6,479	102.2%	12,741	105.3%
11月	25,801	103.5%	4,298	93.0%	6,511	104.8%	12,673	105.3%
12月	26,394	100.9%	4,350	90.1%	6,624	97.7%	13,200	106.1%
1月	25,713	102.1%	4,350	98.2%	6,415	95.2%	12,815	107.1%
2019年度計	235,010	85.5%	40,555	80.8%	58,976	85.8%	114,195	86.3%
4-1月比		101.2%		95.3%		101.3%		102.1%

【家畜販売価格動向】

- (1) 2月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は826千円(前年同期比86.9%)、育成牛価格は495千円(同88.9%)、和牛素牛(去勢)価格は777千円(93.5%)、F1素牛(去勢)価格は548千円(同103.2%)、F1初生(雄)価格は253千円(85.3%)。
- (2) 上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同111.1%、育成牛:同116.8%と大幅に増加。また、F1初生(雄):同118.3%と大きく増加し、和牛素牛(去勢):同105.4%と微増となっている一方で、F1素牛(去勢):同82.8%と大きく減少。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

